

ろうさい病院便り

第48号

令和6年10月1日号
広報ちはら台へ掲載しました

『災害時、自分のからだを守るための備えについて』

千葉ろうさい病院
救急看護認定看護師 戸崎 愛子

今年には元旦に石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震がありました。また、台風や暴風による自然災害も幾度と訪れています。

私が勤務する千葉ろうさい病院は、有事の際は災害医療を提供する役割を担う災害拠点病院です。地域の皆さまへの対応も勿論のこと、全国各地の災害発生時にはDMAT（災害派遣医療チーム）を派遣して医療活動を行っています。災害活動の中では、発災時は緊急に避難しなければならなくなり、特に持病がある方はかかりつけの医療機関や薬局も被災して、復旧までの期間受診できない状況を経験しました。

自然災害はいつ起こるかわかりません。高血圧や心臓病、糖尿病など持病の慢性疾患でお薬を飲んでいる方は、お薬が足りなくなると命にかかわることもあります。そのため、持病のお薬は非常用に3日分を準備しておくことをお勧めします。被災状況によっては帰宅できないこともあるので、できれば7日分あるとより安心です。また、避難先でお薬が足りなくなった場合、お薬手帳や説明書を持っておくとカルテがなくても内容がわかり、他の医療機関でこれまでと同じお薬を出してもらうことができます。スマートフォンをお持ちであれば、お薬手帳の情報を写真に撮って保存しておいたり、また電子お薬手帳を活用することもできます。自身のからだの情報を管理しておくことも、災害の備えのひとつです。

『災害時、自分のからだを守るための備えについて』
千葉ろうさい病院 救急看護認定看護師 戸崎愛子

今年には元旦に石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震がありました。また、台風や暴風による自然災害も幾度と訪れています。私が勤務する千葉ろうさい病院は、有事の際は災害医療を提供する役割を担う災害拠点病院です。地域の皆さまへの対応も勿論のこと、全国各地の災害発生時にはDMAT（災害派遣医療チーム）を派遣して医療活動を行っています。災害活動の中では、発災時は緊急に避難しなければならなくなり、特に持病がある方はかかりつけの医療機関や薬局も被災して、復旧までの期間受診できない状況を経験しました。

自然災害はいつ起こるともわかりません。高血圧や心臓病、糖尿病など持病の慢性疾患でお薬を飲んでいる方は、お薬が足りなくなると命にかかわることもあります。そのため、持病のお薬は非常用に3日分を準備しておくことをお勧めします。被災状況によっては帰宅できないこともあるので、できれば7日分あるとより安心です。また、避難先でお薬が足りなくなった場合、お薬手帳や説明書を持っておくとカルテがなくても内容がわかり、他の医療機関でこれまでと同じお薬を出してもらうことができます。スマートフォンをお持ちであれば、お薬手帳の情報を写真に撮って保存しておいたり、また電子お薬手帳を活用することもできます。自身のからだの情報を管理しておくことも、災害の備えのひとつです。

ろうさい病院 無料送迎バス



病院に便利な無料バスを運行しております。(ろうさい病院で乗車または降車される方に限りです) 詳細は、ちはら台自治会連合会のホームページをご覧ください。

自治会HP

